

戦火や災害の渦中における生活の中の文化やアートの機能について、小説家の柳 美里、建築家の坂 茂とともに、ウクライナ・能登・福島を事例として考えます

ロバート キャンベル館長トークセッション

アンブロークン

Unbroken

傷ついても壊れてはいない

smt

坂 茂

[建築家]

ばん しげる ● 建築家。芝浦工業大学特別招聘教授。2014年、フランス芸術文化勲章コマンドゥール、プリツカー建築賞受賞。2025年、日本芸術院会員、文化功労者に選出。2026年、米国建築家協会（AIA）ゴールドメダル受賞。代表作に「紙の教会 神戸」（兵庫県、1995年）、「ボンビドー・センター・メス」（フランス、2010年）、「紙のカテドラル」（ニュージーランド、2013年）、「女川駅」（宮城県、2015年）、「豊田市博物館」（愛知県、2024年）など多数。紙管、コンテナなどを利用した建築や災害支援活動でも知られる。

ゆう みり ● 劇作家、小説家。演劇ユニット「青春五月党」主宰。1993年、『魚の祭』で岸田國士戯曲賞を最年少受賞。1997年、『家族シネマ』で第116回芥川賞を受賞。2015年、福島県南相馬市に転居。2018年、福島県南相馬市小高区の自宅を改装し「フルハウス」をオープン、同年「青春五月党」を復活させる。2020年、フルハウスをブックカフェとしてリニューアルオープンさせる。同年『Tokyo Ueno Station（JR上野駅公園口）』で全米図書賞（翻訳文学部門）を受賞。2022年、第5回バークレー日本賞を受賞。

柳 美里

[劇作家・小説家]

Robert Campbell ● 近世・近代文学を専門とする日本文学研究者。文学博士。早稲田大学特命教授、早稲田大学国際文学館（村上春樹ライブラリー）顧問、国文学研究資料館前館長、東京大学名誉教授。

ロバート キャンベル

[せんだいメディアテーク館長・日本文学研究者]

2026年3月28日(土) 14:00→16:00 (開場は13:00)

せんだいメディアテーク [1f] オープンスクエア

定員150名、入場無料、先着順 / 手話通訳・要約筆記付

くわしく
はこちら→



会場には坂 茂さんによるプロジェクト「ペーパー・サンクチュアリ」の一部を展示します。

お問い合わせ ● せんだいメディアテーク企画・活動支援室 〒980-0821 仙台市青葉区春日町2-1 [Tel] 022-713-4483 [Mail] office@smt.city.sendai.jp

このチラシはリサイクルできます